

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市民の定住意識や生活環境に対する評価、市政の各分野についての意向などを把握し、今後の行政施策の参考資料とするものである。

2 調査の設計

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 調査地域 | 福生市 |
| (2) 調査対象 | 市内在住の満20歳以上個人 |
| (3) 標本数 | 1,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化2段無作為抽出法(100地点) |
| (5) 調査方法 | 調査員による個別面接法 |
| (6) 調査時期 | 平成3年11月8日～11月20日 |
| (7) 調査機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

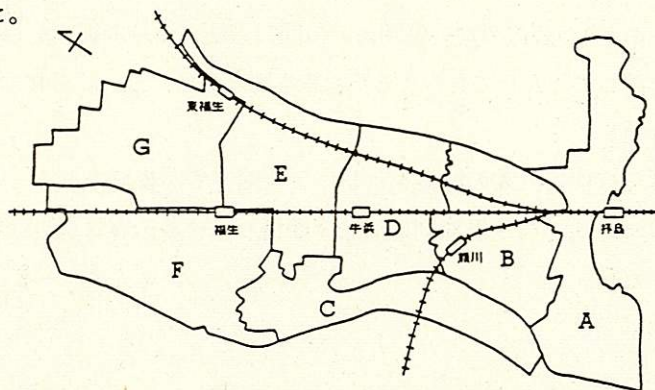
3 回収の結果

- | | | |
|------------|----------------|----------|
| (1) 標本数 | 1,000 (100.0%) | |
| (2) 回収数 | 859 (85.9%) | |
| (3) 回収不能数 | 141 (14.1%)* | |
| (4) 回収不能内訳 | | |
| | 件 | 件 |
| 転居 | (21) | 住所不明 (8) |
| 長期不在 | (17) | 拒否 (29) |
| 一時不在 | (54) | その他 (12) |

*1地点2名の予備標本を追加抽出し、正規標本が転居、死亡、籍のみなどの理由で居住していない時に代替使用した。

4 ブロックの構成

地域特性を把握するため、前回(昭和63年)調査の分類にしたがい、町会(地域)区域を下記7地域に分割した。



*区 域	町 会 (地 域) 名
Aブロック	熊川住宅、南町会、内出町会、武蔵野町会、武蔵野第2町会、福東町会
Bブロック	鍋1町会、鍋2町会、玉川台町会、富士見台町会、福栄町会
Cブロック	福生団地、志茂1町会、南田園1丁目町会、南田園3丁目町会、他南田園地域
Dブロック	熊牛町会、牛浜1町会、牛浜2町会
Eブロック	志茂2町会、本町7町会、原ヶ谷戸町会
Fブロック	本町1町会、本町2町会、本町3町会、中央町会、本町6町会、永田町会、 長沢1町会、長沢2町会、加美1町会、加美2町会
Gブロック	加美平住宅、本町8第1町会、本町8第2町会、武蔵野台1～2丁目

5 この報告書のみかた

[注意事項]

- 1) 表の中のNとは回答者総数（あるいは分類別の回答者数）のことである。
- 2) 百分比はNを100%とし、原則として「結果のあらまし」「結果の分析」では小数点第1位を、「質問と回答」は小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100%にならないことがある。
- 3) 質問にとくに指示がない限り、回答は1つだけ答えるように要求した。
- 4) 1人の回答者が複数回答をおこなってもよい質問（3つまで、すべて等）では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 5) 「結果の分析」内でクロス分析をおこなった帯・円グラフ上で比率の少ない数値は省略してある。
- 6) グラフ上の回答選択肢の中には、調査票上の意味をそこなわない程度に簡略化して表示したものがある。
- 7) [リスト○] の表記のある質問は、回答を印刷した別のカードを対象者に見せ、回答をその中から選択するようにした。
- 8) [リスト○] の表記のない質問は、口問口答法によって調査が行なわれており、調査票を回答者に渡して記入してもらうとか、答を読みあげたり、誘導したりするなどのことは一切していない。
- 9) 図表中0は四捨五入の結果を示し、－は回答者が皆無であることを示している。
- 10) 職業別の学生と居住形態別に同居・間借り・住み込みは調査回答者が少なく、分析では触れていない。

[標本誤差]

下記に層化2段無作為抽出の場合の標本誤差の式と標本誤差の早見表を示した。なお、信頼度を95%とした計算式である。

$$b = 2 \sqrt{2 \cdot \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(1-P)}{n}}$$

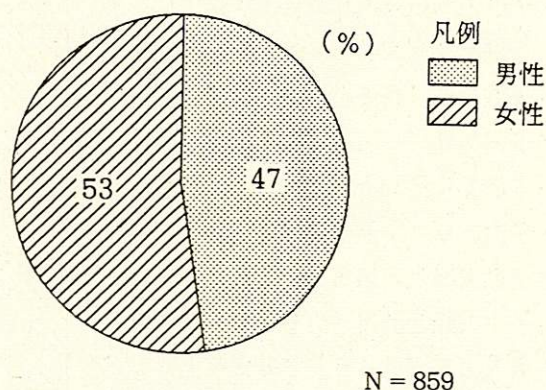
b = 標本誤差
 N = 母集団の人数
 n = 比率算出の基数 (回答者数)
 P = 回答の比率

N \	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
市全体 (859)	± 2.9%	± 3.9%	± 4.4%	± 4.7%	± 4.8%
700	± 3.2%	± 4.3%	± 4.9%	± 5.2%	± 5.3%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
500	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.3%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
300	± 4.9%	± 6.5%	± 7.5%	± 8.0%	± 8.2%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

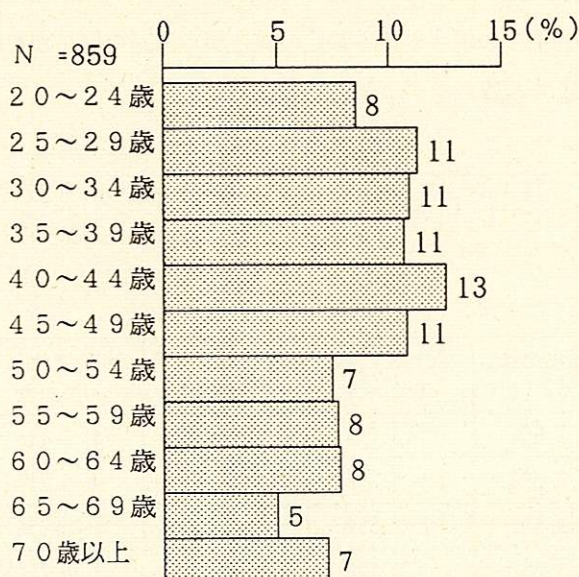
(注) 上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出した数値である。

6. 標本特性

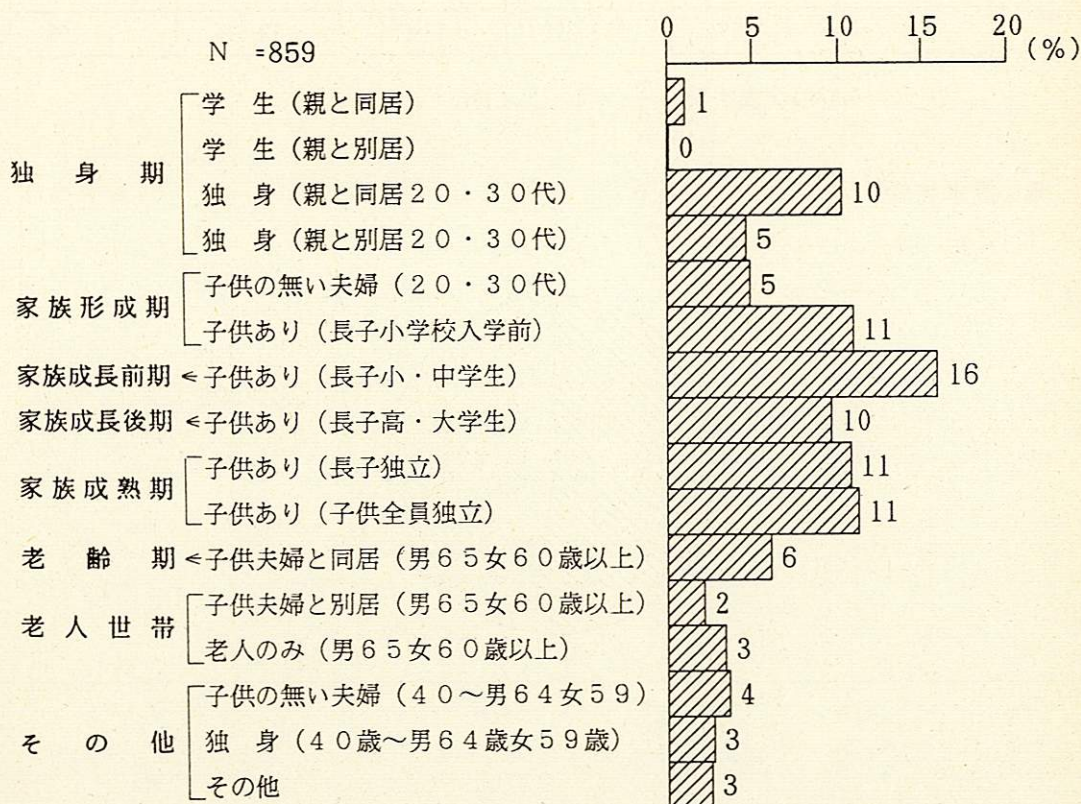
(1) 性別



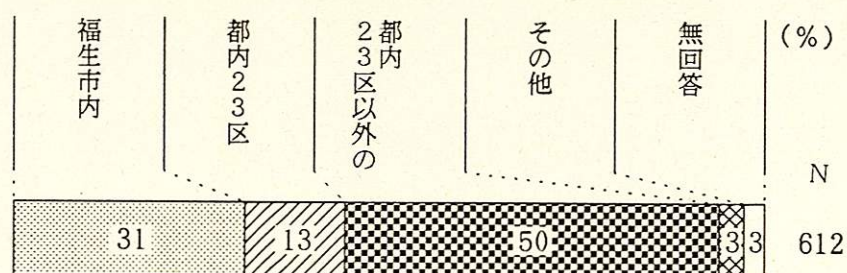
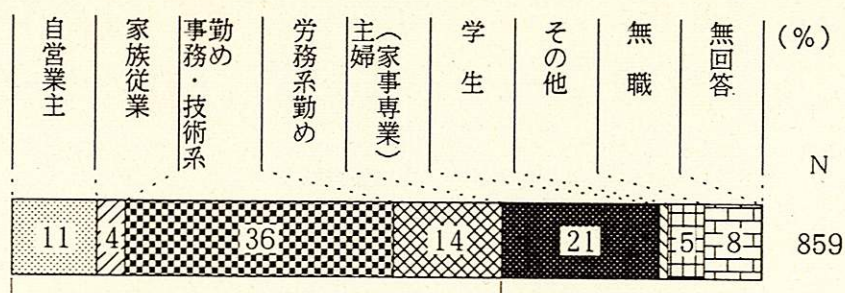
(2) 年 齢



(3) ライフステージ別



(4) 本人職業、通勤・通学地別



(5) 住居形態別

